



玉名市立玉名中学校

学級数 20学級 生徒数 635名（令和2年7月末現在） 校長 杉本 三郎

玉名市小中一貫教育…玉名市は全小中学校で小中一貫教育を進めています

玉名中学校区教育目標 ☆未来を切り拓く児童生徒の育成

〈共通研究主題〉求められる資質・能力を育む学びの創造

玉名中学校区のめざす子ども像

- 主体的に学習に取り組み、確かな学力を身に付ける子供
- 感謝、思いやりをもって行動できる子供
- 強い意志とたくましい体力を備えた心身ともに健康な子供

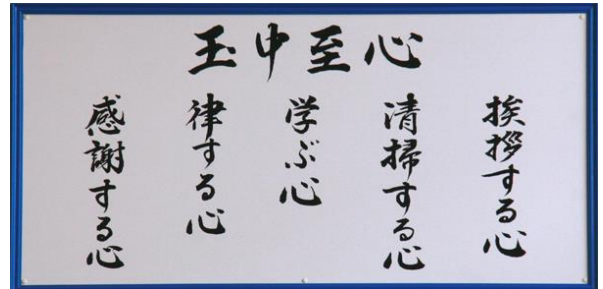
重点事項

- 知) 学習規律の徹底
- 家庭学習習慣・質向上
- 徳) あいさつの徹底
- 掃除（清掃）の徹底
- 体) 「体育の授業」基本徹底
- 健康増進

1 **玉名中プライド** 玉名中学校には、「宝物」として大切にしているものが3つあります。

① 玉名中で育む心『玉中至心』

正門前や各教室、体育館に掲示されている『玉中至心』。本校は、この五つの心の具現化・行動化を目指し、日々の授業や生徒会活動、学校行事、部活動に取り組んでいます。私達玉名中学校のめざすべき方向を常に灯してくれています。



② 玉名中を見守る『永遠の木』

正門玄関前にそびえ立つクスノキ。平成10年5月、『永遠の木』と命名されました。毎日、学校を温かく見守ってくれています。また、本校で読み聞かせをしていただいているボランティア団体の名称も『永遠の木』が由来となっています。



③ 玉名中と地域を結ぶ『玉中総合教育会議』

本校では、平成28年度から『玉中総合教育会議』を年間4回実施しています。この会議を通して、学校と地域が目標を共有し、連携・協働しながら地域とともにある学校づくりを進めています。

生徒達が地域の方々と直接協議する熟議は貴重な機会となっています。郷土である玉名への愛着を強め、生徒の主体的な学校づくりへとつながっています。

令和2年度 玉中総合教育会議 玉名市立玉名中学校

自分のために 誰かのために
心をつなぐ 心をこめて 心をこめて
～おどされる愛される玉名中へ～

◎社会に開かれた教育課程の実現を目指し、地域とともにある学校づくりを進めます。
～五全連携の充実を目指し、双方向型の連携・協働～

◎玉中総合教育会議は、次のメンバーで構成します
・学校運営協議会委員
・学級代表者、地域代表
・PTA役員、玉中教職員等
・生徒会役員等
職員数 関係委員会役員等

◎地域と連携する学校
◎双方(行動連携)
◆地域ボランティアの方々の活動
◆地域行事への参加

◎地域の方を生かす学校
◎一方
◆地域ボランティアからの支援
◆地域へのボランティア活動

◎文化発表会(秋展示)

◎地域と連携・協働する学校
◎双方(目標連携・地域貢献)
◆TFA活動との連携・協働
◆地域行事との連携・協働

【玉中総合教育会議 年間計画】
○開1回 6月25日(水)
○開2回 8月10日(水)
○開3回 12月16日(水)
○開4回 2月26日(金)
◆特別の意義・価値の発掘から考え、学校運営、生徒会活動の発展・向上へのための計画、実行の期間を、互いに学び合います。

【チーム玉中・熟議】
◆学校教育目標を具現し、学校・地域が連携・協働できる方向を協議する。
◆学校・地域の課題を連携・協働して、解決できる方向を協議する。

2 令和2年度「学校教育目標」

自分のために 誰かのために

心をこめて取組める人に
～めざされる愛される玉名中をめざして～

生徒主体の学校づくり

玉中至心の具現化達成

学力の二極化解消

不登校未然防止・早期対応・解消へ

3 玉名中生徒に「身に付けさせたい資質・能力」

【自立】主体性（自ら気づき、考え、行動できる力）の育成

【協働】多様性を受け入れ、共に学び合い、互いに高め合う実践力の育成

【創造】自立し、協働・相互依存することで、新たな考え、新たなものを創り出す力の育成

4 教育活動の実践

実践1 学校再開と感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度末に続き、本年度も4月の途中から5月末まで臨時休業となりました。そこで、電話連絡や家庭訪問、登校日を中心に家庭学習や生活面、心のケア等の支援を行いました。

6月からの学校再開に伴い、本校でも「新しい生活様式」をもとに、朝の検温、手洗い、3密の回避、消毒など感染予防の徹底に取り組んでいます。

実践2 生徒主体の学校づくりに向けて

今年度は、生徒会、委員会、学級における役割と責任を明確にし、生徒主体の学校づくりに取り組んでいます。生徒会役員が新入生のために制作した学校生活紹介ビデオや放送・映像による生徒総会など生徒の知恵と工夫がうかがえます。

また、今年度から玉中至心プロジェクトに教職員のみならず生徒会も加わり、生徒主体の活動が広がっています。生活委員会と体育委員会がコラボした挨拶運動を通して、学校にも活気が戻ってきました。

実践3 仲間づくりの推進と学びの環境設定

6月は「心のきずなを深める月間」であり、各学年を中心に人権学習や人権集会を実施しました。また、美術科で制作したハートメッセージや国語科の詩歌創作作品などが校内を彩り、子供たちの思いや学びの姿がうかがえます。



【授業における感染予防対策】



【工夫を凝らした生徒総会】



【1年人権集会】